

名大の時間

雪質日本一

講義でスキーを行いました。私は2年ぶりのスキーでしたが初めてスキーをする学生もいました。初めての名寄のスキー場はふわふわの雪が積もったサンタのオブジェに出迎えられました。

このサンタのオブジェは、昔煙突に設置しており煙突が老朽化のため撤去になった現在は様々な場所に移動しながら子供にお菓子を配布している

と聞き、地域活動が盛んな町であると思いました。

そんな名寄市での初めてのスキーは不安と緊張でいっぱいでした。傾斜は急なのだろうか、周囲はどのくらい滑れるのだろうか、そんなことを考えながら重たいスキー靴を履きスキー板をはめました。リフトを降りていざ初滑り。雪の上を流れているような感覚に心が躍りました。

た。スキーの実力順に班分けを行い、いよいよ講義の開始。

私の班は3人の学生と1人の先生で和気あいあいとした雰囲気の中スタートしました。それぞれの苦手な部分や極めたい滑り方を先生に伝授してもらい、2日目に行われるフォーメーションのお披露目会に向けて準備をしました。滑ることに慣れてくると学生が主体

となって滑りだし、先生を置いて行ってしまふ場面もありました。それもまた良い思い出と終わつた今では思います。

最終日。前日に降った雪のおかげでふかふかのゲレンデになっていました。私たちはイースタンコースに行きふかふかの雪に大興奮しながら教わった技術を駆使し滑りました。途中で滑るのを止め写真を撮り、空に向かって雪を舞わせました。太陽に照らされた雪はキラキラ光り、私はそこでダイ



ヤモンドダスト現象を目にし、極寒の地であるということとその壮大さを感じました。

3日間を通してリフトでは先生と2人で経済の話やコーヒ

ーの話、社会についてなど様々なことを話し、それもまた貴重な経験であると思えました。初めての名寄でのスキー

ーは道北の大きさを感じました。4年間の学生生活を通して道北と名寄の魅力を沢山見つけていきたいと思えます。

社会福祉学科1年

梶 有沙

名寄市立大学の1年生は、2月に3日間、スポーツ実技の